

近畿日本鉄道 12200・12400・15200系

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 鋭気の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- マグネットカプラー（連結器の部品）は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

使用上の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

（お買い上げのお客様へ）不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

（東日本）柏市豊四季2-21-22 ☎277-8511 ☎04-7146-0371
（西日本）大阪市北区豊崎4-12-3 ☎531-0072 ☎06-6375-5050
●電話受付時間 月～金曜日（祝日を除く）10時～16時
●電話番号はよく確かめてお間違いないようご注意ください。

Nゲージのパーツ交換について

小さなお子様は保護者の方と一緒に加工してください。

■動力ユニットの取り付け（Nゲージの線路上を走行させることができます。）

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

- KATO製「小型車用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

品番11-105 通勤電車①：コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①：空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②：ボルトスタレ台車タイプ

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

- KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。

●トレラー車への台車取付

- 動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

品番11-099 通勤電車①：コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①：空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②：ボルトスタレ台車タイプ

- 床板に直接、ピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。

●機関車への動力ユニットの取り付け

- KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

- 11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー（プラ小片）が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

■パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

品番11-401 PS14：直流パンタグラフ

品番11-403 PS22：直流下枠変形パンタグラフ

品番11-404、11-420 PS16：直流パンタグラフ

- ピン圧入方式の各種パンタグラフを取り付けられます。

*11-420は屋根穴が4個の屋根に対応します。

- 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。
- トレラー台車、パンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが固い（緩い）ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けてください。

シャーシの組立

1

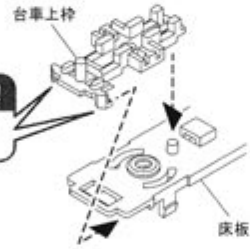
〈台車の組立〉

- 前後・2組の台車をそれぞれ組立ます。

（上下を逆さまにして組立てると楽です。）
●説明イラストは上下逆にしてあります。

向きに注意！

台車上枠の向きに注意してください



2

選択して取り付けてください

- 先頭車の前側には、ダミーカプラーを使用します。

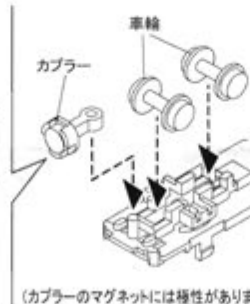
ダミーカプラー
（連結は出来ません。）
●イラストは上下逆です。

ドローバー
（2両を固定連結する場合に使用します。）

密着連結器
（JR電車ほか）

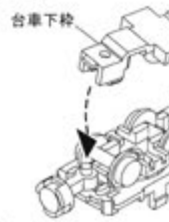
自動連結器
（客車・気動車ほか）

（ディスプレイ線路の連結にも使用します。）



3

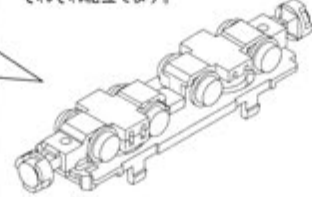
向きに注意！



台車下枠の向きに注意してください

〈台車の完成〉

- 前後・2組の台車をそれぞれ組立ます。

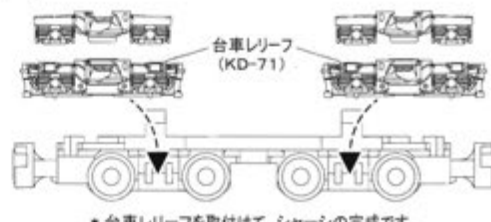


実車の編成例

●時期によって、編成は変化していますのでご注意ください。

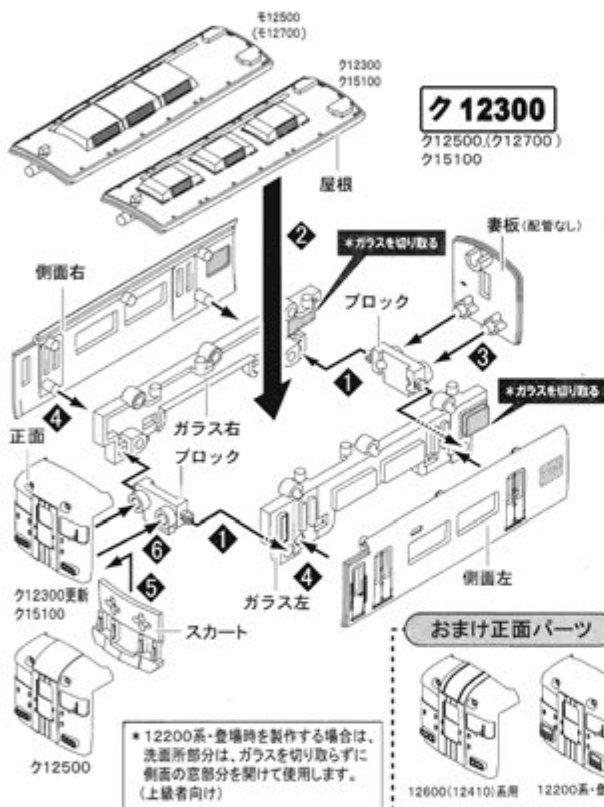
12200系				12400系				15200系			
モ	ク	サ	ク	モ	サ	モ	ク	モ	サ	モ	ク
12200	12300	12200	12120	12400	12550	12400	12500	15200	15100	15200	15100
12201	12301	12233	12133	12401	12551	12401	12501	15201	15101	15201	15101
12232	12332	12248	12148	12403	12553	12256	12156	15202	15102	12252	12152
		12252	12152			12052	12352			12056	12356
		12255	12155			12055	12355				

4 〈台車レリーフの取付〉●レリーフの向きに注意してください。



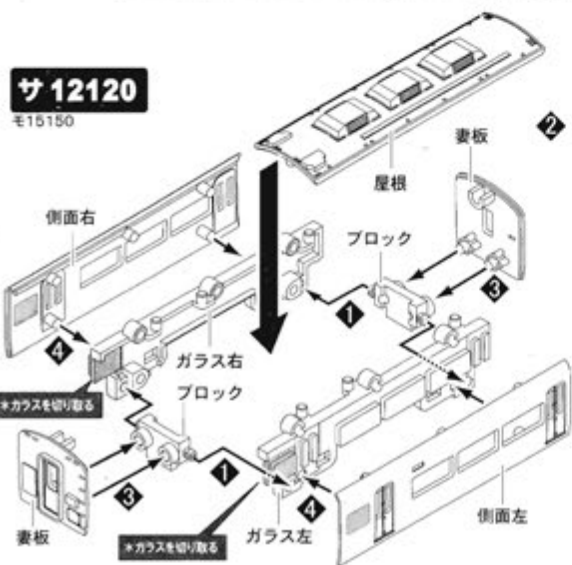
車体の組立て

- ①左右のガラスの前後に取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パテンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
- ⑥前面を取り付けて完成です。
(組み立て前に前面の裏側にスカートを取り付けます。)



サ12120

モ15150

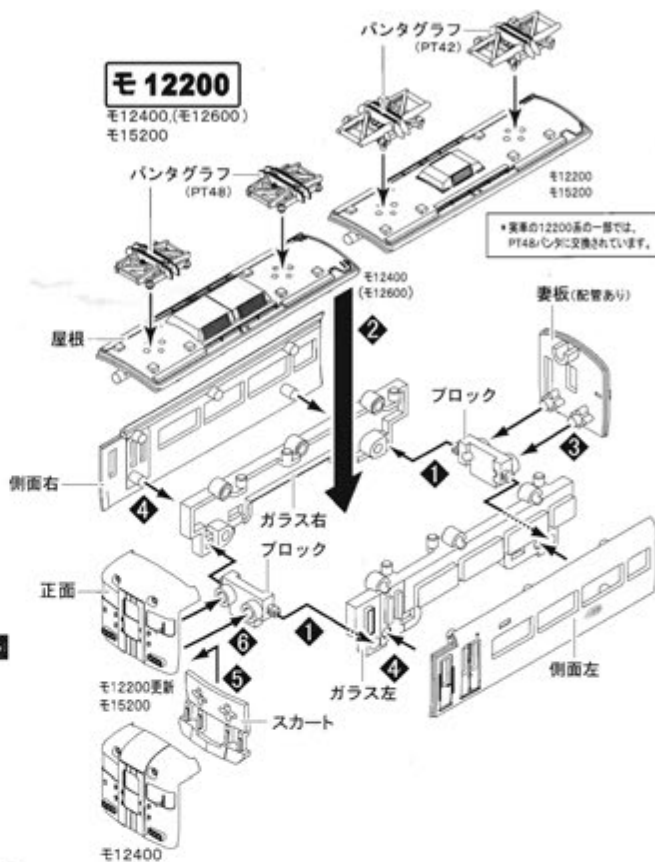


*取り付け部が広い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

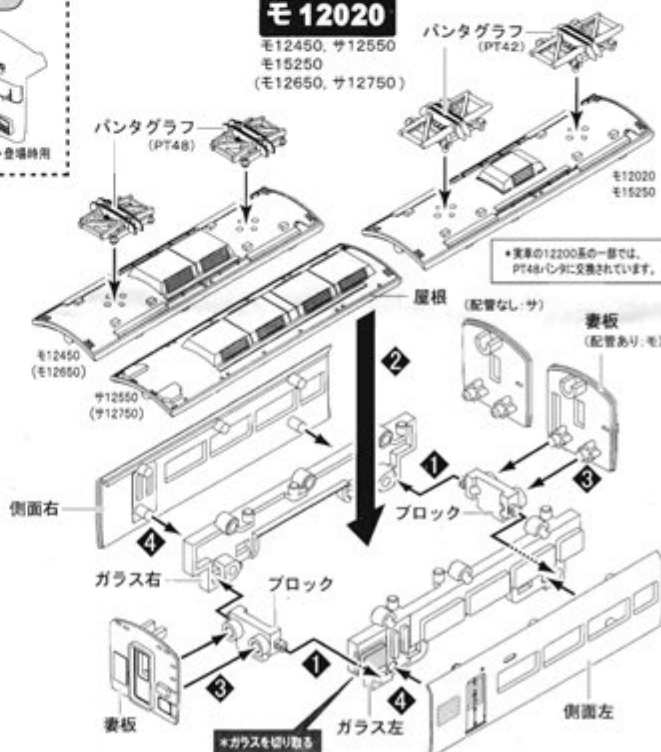
モ12200

モ12400(モ12600)
モ15200



モ12020

モ12450, サ12550
モ15250
(モ12650, サ12750)



車体番号

12407	12407	12235	12233	12249	12249	12401	12401
12307	12307	12133	12133	12149	12149	12351	12351
12211	12211	12033	12033	12029	12029	12451	12451
12311	12311	12336	12236	12049	12049	12402	12402
12219	12219	12136	12136	12349	12349	12352	12352
12319	12319	12036	12036	15201	15201	12452	12452
12421	12421	12336	12336	15151	15151	12302	12302
12321	12321	12243	12243	15251	15251	12403	12403
12223	12223	12143	12143	15101	15101	12353	12353
12323	12323	12043	12043	15202	15202	12453	12453
12225	12225	12343	12343	15152	15152	12303	12303
12325	12325	12243	12243	15252	15252	12404	12404
12228	12228	12152	12152	15102	15102	12354	12354
12328	12328	12052	12052	15203	15203	12454	12454
12332	12332	12352	12352	15103	15103	12355	12355

種別・方向幕

全車1200系		1200系		1200系		1200系		1200系	
									
									
									
									
									
									
									

12200番機種



あおぞらマーク

